

地域の歴史を未来へつなぐ まちづくり

中津川市長(岐阜県)

青山節児



はじめに

中津川市は岐阜県東南端に位置し、東は木曾山脈、南は三河高原に囲まれ、中央を木曾川が流れる自然豊かなまちである。

平成17(2005)年に長野県に属していた旧山口村を含む七つの町村と合併したことにより、現在の姿になった。本市には古くは東山道、中山道、飛騨街道が通り、交通の要衝として栄えてきた。

人々が行き交う道

徳川幕府によって整備された五街道の一つ、中山道。その街道沿いに置かれた宿場町には、本陣や旅籠が置



江戸時代の情緒を残す馬籠宿

かれ多くの旅人が行き交った。本市は馬籠宿、落合宿、中津川宿の三つの宿場を有している。江戸から数えて43番目の馬籠宿は、幕末から明治・大正にかけて幾度となく大火に見舞われ

たため江戸期の建物は少ないが、第2次世界大戦後、住民たちの手により趣ある宿場町の景観を復活させた。現在では人気の観光地となっており、特にコロナ禍以前は、隣接する妻籠宿と馬籠宿間のハイキングに年間約3万人以上の外国人観光客が訪れ、ゆったりと周遊を楽しんでいた。閑静な雰囲気を残す44番目の宿場町、落合宿は岐阜県内で唯一本陣が現存している。中山道69宿の中でも、本陣が残っている宿場は数少ない。木々に囲まれた全長約840mの「落合の石畳」は、そのうちの約71mが江戸時代当時のまま残っている。45番目の宿場町、中津川宿はまち並みの長さ、宿内の人口、商家の数など、東美濃でも随一の

街道文化と中津川

規模を誇り、人・モノ・富が集まる商業のまちであった。現在に残る庄屋屋敷、酒蔵などから当時の隆盛がしのばれる。また、江戸時代には毎月3と8のつく日に「六斎市」と呼ばれる定期市が開かれたが、現在ではこれを毎月第1日曜日に復活にぎわいを見せている。

本市を通る街道は、経済だけでなく文化面でも大きな恩恵をもたらした。中山道や飛騨街道を一流の画家、俳人、役者などが往来し、住民との交流を通じてこの地域に文化的雰囲気醸成した。幕末・明治の馬籠宿を舞台とした歴史長編小説『夜明け前』を執筆した島崎藤村、法隆寺



地歌舞伎のまち 中津川

金堂の壁画の再現を行ったこと
で有名な前田青邨^{せいそん}、「画壇の仙人」
「東洋のピカソ」ともいわれる熊
谷守一といった名だたる文化人
が生まれたのも、その影響があつ
たといえるだろう。

また、本市は地歌舞伎が盛ん
なまちである。地歌舞伎とは素
人役者が演じる歌舞伎のことで、
江戸時代、全国で盛んだった歌
舞伎の巡業が街道を介してこの
地方でも行われ、その影響を受
けた人々が自ら演じるように
なったといわれている。そして



岐阜県の新たな玄関口に

本市には歴史ある芝居小屋が残
り、「かしも明治座」「常盤座」で
今も地歌舞伎の公演が行われて
いる。さらに、本市には「恵那文
楽」という川上^{かわかみ}地区に伝わる人形
浄瑠璃がある。江戸時代から地
域の人々によって大切に受け継
がれてきた伝統芸能であり、平
成元年には岐阜県重要無形民俗
文化財に指定された。現在も保
存会が定期的に公演を行う他、
後進の育成にも努めている。

リニアが通るまち

古くから人・モノ・富が行き
交った本市には、2027年に
リニア中央新幹線が開通する予
定である。リニア開通により本
市は首都圏・大阪都市圏の二大
都市圏の中央に位置することと

なり、観光・産業・雇用や定住
など幅広い分野の可能性がさら
に広がるだろう。広域共通拠点
としての役割を果たし、地域資
源の魅力向上と、広域連携・周
遊を促すようなまちづくりが必
要である。リニア駅建設予定地
の1km南には中山道が通ってお
り、そこから東に進むと、江戸
時代からの雰囲気を残す宿場町

が続いている。超近代的なりニ
アに乗って着いた場所には、江戸
時代の風情を残すまちがある。
そしてそこには、街道文化を現
在に受け継ぐ人がいる。恵まれ
た自然の景色に抱かれ、古き良
きモノと超近代が共存する中津
川のまちづくりを進め、「かがや
く人々やすらげる自然 活気あふ
れる中津川」を目指していく。

一口メモ 中山道

皇女和宮がたどった姫街道・中山道

中山道は江戸日本橋を発して、
京の三条大橋まで、六十九宿をつ



なく全長534kmの道のりであ
る。その道のりは、律令時代の官
道、東山道にほぼ沿っている。

中山道の道筋は、東海道に比べ
て大水などで通行不能となる川渡
しが少なかったことから、京の朝
廷から江戸の将軍家へ嫁ぐ姫君を
はじめ女性が多く利用した。その
ため中山道は別名「姫街道」と呼ば
れた。

文久元年、中津川宿の本陣に
十四代将軍徳川家茂^{いえもち}に嫁ぐ和宮^{かずのみや}が
宿泊し、宿は3万人近くの大行列
で埋め尽くされたという。

企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」